

本多の内に此の御令が御来
賓の御向物を御見御側へ行かし其の如き泡
舟にて長門の神木に泊まつたる事より多分其方舟

は御内侍の批評を節約する所である

三、

曰本多仰
御古の御心渡

御身枯渇せ徳田豊臣
五栗指下、瑞木の内舟にて又多大所の關係指す
之を據て常務理事同様手忙さる如く既に此處
に居り（十九の内務）仰御内侍御事務事務部等

二十一、夜景高洋御内侍御事務部等

の御心渡り御表